



2020年2月4日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス  
 代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治  
 (コード番号：4584 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄  
 経 営 管 理 本 部 長  
 (TEL. 03-6222-9547)

## (訂正)「2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料」の一部訂正のお知らせ

当社が本日発表いたしました「2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料」につきまして、記載に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

### 記

#### 1. 訂正内容

決算補足説明資料における2019年3月期4月～12月の実績数値に誤りがありましたので訂正いたしました。

#### 2. 訂正箇所

決算補足説明資料6ページ「2020年3月期 第3四半期業績・個別（参考数値）」に関する項目

	売上高 (百万円)	販売費及び一般管理費 合計	内 研究開発費	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
(訂正前) ジーンテクノサイエンス						
2020年3月期 4月～12月実績 (A)	639	1,145	(652)	△749	△764	△6,699
2019年3月期 4月～12月実績 (B)	<u>777</u>	<u>991</u>	<u>(656)</u>	<u>△515</u>	<u>△512</u>	<u>△513</u>
(参考) 増減額 (A-B)	<u>△137</u>	<u>154</u>	<u>(△4)</u>	<u>△233</u>	<u>△251</u>	<u>△6,186</u>
(訂正後) ジーンテクノサイエンス						
2020年3月期 4月～12月実績 (A)	639	1,145	(652)	△749	△764	△6,699
2019年3月期 4月～12月実績 (B)	<u>618</u>	<u>860</u>	<u>(524)</u>	<u>△466</u>	<u>△477</u>	<u>△524</u>
(参考) 増減額 (A-B)	<u>20</u>	<u>284</u>	<u>127</u>	<u>△282</u>	<u>△286</u>	<u>△6,175</u>

#### 3. 訂正後の補足説明資料

別紙、訂正後の決算補足説明資料をご覧ください。

以 上

# 株式会社ジーンテクノサイエンス

2020年3月期 第3四半期  
決算補足説明資料

2020年2月4日



## 注意事項

この資料は株式会社ジーンテクノサイエンス（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及びその他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。



# 2020年3月期 第3四半期 業績ハイライト

## 業績ハイライト

### ◆ 2020年3月期 第3四半期の実績

- ✓ 売上高は年度計画達成に向け予定どおりの進捗
- ✓ 研究開発費は概ね計画どおりに進捗

# 2020年3月期 第3四半期業績・連結

## ◆ 2020年3月期 第3四半期業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

	売上高 (百万円)	販売費及び一般管理費 合計	内 研究開発費	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
<b>連結</b> 2020年3月期 4月～12月実績 (A)	733	1,221	(685)	△932	△953	△6,892	△249.32
(参考) 2020年3月期 業績予想値	1,050		1,200	△1,220	△1,260	△7,260	

### 主なポイント

- フィルグラスチムバイオシミラーは、年度計画どおりの売上高を達成見込み
- 開発進捗に伴うマイルストーン及びロイヤリティ等の収益を含む

- 研究開発費は主にバイオシミラー事業の推進に支出

- 第1四半期に、のれんの一括償却に係る減損損失5,938百万円計上（特別損失）

# 2020年3月期 第3四半期業績・個別（参考数値）

## ◆ 2020年3月期 第3四半期業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

	売上高 (百万円)	販売費及び一般管理費 合計	内 研究開発費	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)
<b>ジーンテクノサイエンス</b> 2020年3月期 4月～12月実績 (A)	639	1,145	(652)	△749	△764	△6,699
2019年3月期 4月～12月実績 (B)	618	860	(524)	△466	△477	△524
(参考) 増減額 (A - B)	20	284	127	△282	△286	△6,175
<b>セルテクノロジー + レムケア</b> 2020年3月期 4月～12月実績	93	82	(33)	△189	△189	△192

### 主なポイント

- 第1四半期に、連結上ののれん減損に伴う、個別上での関係会社株式評価損5,938百万円計上（特別損失）

※個別の数値については、四半期レビューの対象外です。



# 2020年3月期 第3四半期 事業ハイライト

## 2020年3月期通期 事業ハイライト

## バイオ新薬

- 抗RAMP2抗体の導出活動継続
- **札幌医科大学とのがん細胞内侵入能力を有する抗体を用いた抗がん剤の共同研究**
- **MabGenesisとのがん細胞殺傷効果を有する新たな抗体の取得を目的とした共同研究**

## バイオシミラー

- ダルベポエチンアルファバイオ後続品 製造販売承認取得 → **販売開始**
- **癸巳化成とのアフリベルセプトバイオシミラーにかかる共同開発契約の締結**

## 新規バイオ

(再生医療／細胞治療)

- ORTHOREBIRTHとの口唇口蓋裂に関する共同研究開発契約締結
- 昭和大学と再生医療の事業化に向けた産学提携契約締結
- 昭和大学と骨関連疾患に関する共同研究契約締結
- 岐阜薬科大学と眼関連疾患に関する共同研究契約締結
- 住商ファーマインターナショナルとの歯髄間葉系幹細胞の分譲に関する契約締結
- Heartseedへの出資
- **東京都医学総合研究所、名古屋大学、及び東京医科歯科大学との歯髄幹細胞を活用した脳性まひの治療法創出に向けた四者共同研究契約**

## その他

- セルテクノロジー子会社化
- 資金調達方法の見直し
- レムケアの設立
- 学術顧問の選任
- **みずほ銀行からの資金借入**
- **アイルとの再生医療及びヘルスケア領域における事業展開のための業務提携契約**

## 新たな共同研究契約の締結

### ■ 札幌医科大学

- ✓ 札幌医科大学が保有するがん細胞への侵入能力をもつ抗体とGTSの高度なタンパク質取り扱い技術を組み合わせ、新たな抗がん剤の開発

### ■ MabGenesis

- ✓ MabGenesisが保有する画期的なファージ抗体ライブラリを活用し、新しいがん殺傷能力を持つ抗体を作成し、これを活かしたがん治療薬の開発

### ■ 東京都医学総合研究所、名古屋大学、東京医科歯科大学

- ✓ 歯髄幹細胞の優れた神経再生能力と炎症抑制能力を活用し、脳性まひにおける機能障害を抑制、機能獲得を促進する治療法の創出



# 資金調達

資金調達実施により、GTS3.0実現に向けて**成長を加速**

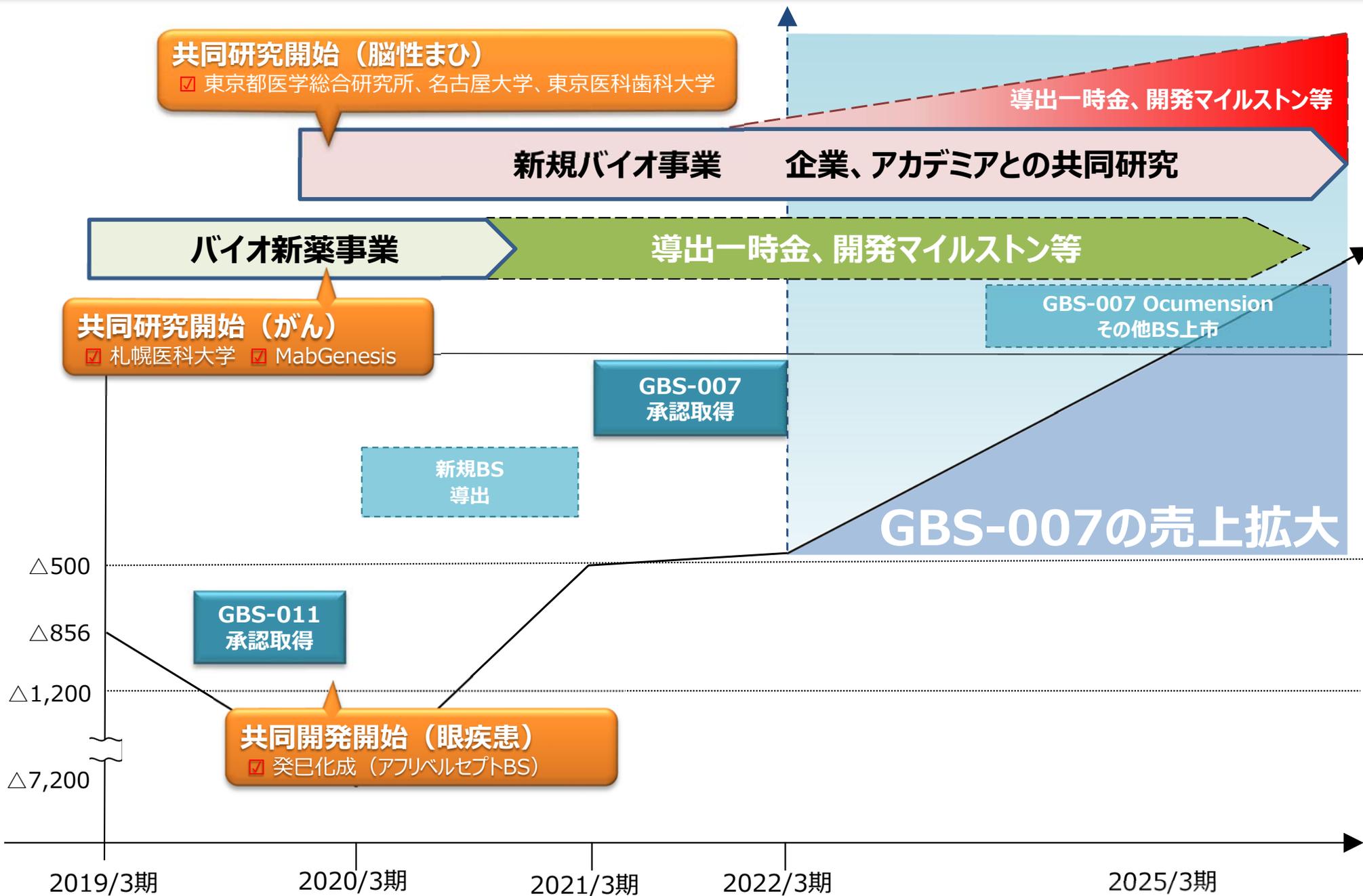
## ポイント

- ✓ 総額約17億円（現在12億円を確保 ※3Q末時点残高約25億円）
- ✓ 海外投資家からの資金調達（転換社債及び新株予約権）
- ✓ みずほ銀行からの借入れ
- ✓ 各パイプラインの開発加速 & 新規案件の拡充促進



# GTS3.0 事業展開

# GTS3.0 アクションプランの進捗状況



# GTS3.0 バイオで価値を創造する！

## 抗体製造法開発

- ☑ 高産生細胞株  
SOLA、クロモセンター、GPC
- ☑ アフリベルセプトBS開発  
癸巳化成

## 細胞治療プラットフォーム

- ☑ 歯髄幹細胞  
アカデミアとの共同研究
- ☑ 心臓内幹細胞  
日本再生医療

シーズ発掘  
コスト削減  
新治療法創出  
患者様への貢献

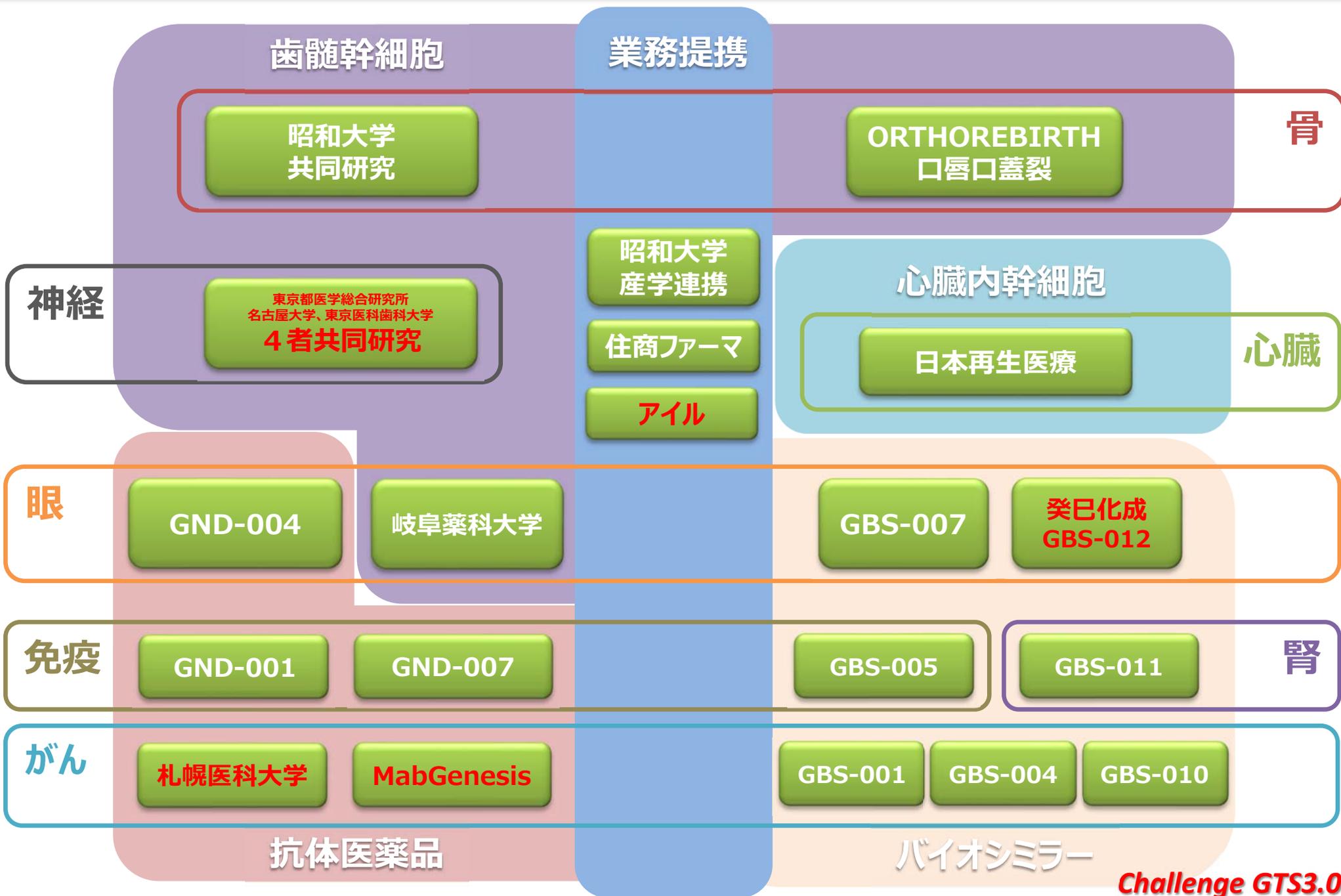
## 新規抗体研究

- ☑ がん細胞内侵入抗体  
札幌医科大学
- ☑ ファージ抗体ライブラリ  
MabGenesis

## 事業提携拡大

- ☑ 歯髄幹細胞販売  
住商ファーマインターナショナル
- ☑ 再生医療の事業提携  
アイル

# GTS3.0 新治療法の創出に向けて





# パイプライン

## ① バイオシミラー

開発番号	対象疾患	開発研究	臨床試験（治験）		申請・審査 承認・上市	提携先
			第1相	第3相		
<b>GBS-001</b> フィルグラスチム	がん					富士製薬工業(株) 持田製薬(株)
<b>GBS-004</b> ペバシズマブ	がん					
<b>GBS-005</b> アダリムマブ	免疫疾患					長春長生生物科技有限責任会社との提携解消 に向けて交渉中 導出活動中
<b>GBS-007</b> ラニズマブ	眼疾患					千寿製薬(株) Ocumension Therapeuticsへ導出（中国 及び台湾）
<b>GBS-008</b> パリビズマブ	感染症					
<b>GBS-010</b> ベグフィルグラスチム	がん					
<b>GBS-011</b> ダルベポエチンアルファ	腎疾患					(株)三和化学研究所
<b>GBS-012</b> アフリベルセプト	眼疾患					癸巳化成(株)

## ② バイオ新薬

開発番号	対象疾患	基礎研究	開発研究	臨床試験（治験）			申請・審査 承認・上市	提携先
				第1相	第2相	第3相		
<b>GND-001</b> 抗ヒトα9インテグリン抗体	免疫疾患、がん							科研製薬(株)
<b>GND-004</b> 抗RAMP2抗体	眼科疾患、がん							導出活動中
<b>GND-007</b>	免疫疾患							
<b>新規抗体</b>	がん							札幌医科大学
	がん							MabGenesis(株)

## ③ 新規バイオ事業（再生医療／細胞治療）

開発番号	対象疾患	基礎研究	臨床試験 (治験)	条件・期限 付き承認※	市販 (市販後に有効性、 更なる安全性を検証)	承認	継続して 販売	共同研究企業・大学等
<b>GCT-101</b> 顎裂治療薬	口唇口蓋裂							ORTHOREBIRTH(株)
<b>JRM-001</b> 心臓内幹細胞	心機能の改善							(株)日本再生医療
歯髄幹細胞	骨関連							昭和大学
	眼関連							岐阜薬科大学
	脳性まひ							東京都医学総合研究所 名古屋大学医学部附属病院 東京医科歯科大学

※再生医療等製品の早期実用化に対応した承認制度  
患者にリスクを説明・同意を得て、先行して使用し、市販後の安全対策を講じる。

### その他関連先

区分	会社名	事業内容
事業承継先	(株)JUNTEN BIO (順天堂大学)	免疫寛容誘導を活用した免疫系疾患の研究開発
出資先	(株)ミネルヴァメディカ (札幌医科大学)	骨髄間葉系幹細胞を用いた糖尿病性腎症の研究開発
	Heartseed(株)	iPS細胞を用いた心筋再生医療

# 株式会社ジーンテクノサイエンス



バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー